

大槌発

旧役場庁舎 解体終了



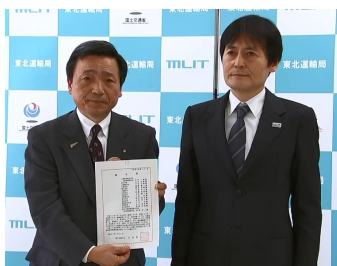
津波で多くの職員が犠牲になった大槌町の旧役場庁舎の取り壊しが終了しました。今後はガレキを運びだし、2月いっぱい

更地になる予定です。町は3月11日にこの場所で、犠牲になった職員の追悼式を行う考えで、遺族の出席に向けて協議を行うことにしています。旧役場庁舎を巡っては保存か解体かで町内を二分する議論が続いていました。(1/31 ニュースエコー)

仙台発

三鉄の事業計画 認定

J R 山田線の宮古・釜石間の移管される三陸鉄道の事業計画が国の認定を受け、3月からの「リアス線」の運行が正式に許可されました。事業計画には、利用促進による収入の確保やリアス線の直通運転による利便性の向上などが盛り込まれています。計画の期間は、「リアス線」の運行が始まる3月23日からの10年間で



大槌発

観光交流施設が完成



震災の津波で流失した大槌駅が再建され、落成式が行われました。新しい大槌駅は大槌湾に浮かぶ蓬莱島をイメージしていて、観光交流施設が併設されています。施設には飲食店も出店し、新巻鮭からスープを作った大槌自慢のラーメンが提供される予定です。新しい大槌駅は、3月23日のリアス線の開業に合わせてオープンします。(2/1 ニュースエコー)

釜石発

高台目指す韋駄天競争

高台への津波避難の大切さを伝えていこうという「韋駄天競争」が釜石で行われました。市街地から高台にある寺までのおよそ300メートルの坂道を一気に駆ける競争です。6回目の今年は親子連れや中高生など150人が参加し、全力で坂道を駆け上がりながら津波の際には一刻も早く高台に避難することの大切さを噛み締めていました。(2/3 ニュース)



大船渡発

つばきまつり 始まる

ツバキ自生の北限の地とされる大船渡市の「世界の椿館・基石」で恒例の「三陸・大船渡つばきまつり」が始まりました。今は、世界13か国550品種のツバキが、7割ほどの花をつけていて、訪れる人を楽しませています。つばきまつりは3月24日まで開かれ、期間中は椿油をしぼる体験や椿油を使った料理の試食なども行われます。(2/4 ニュースエコー)



宮古発

心を一つに 縄跳び大会



小学生対抗縄跳び選手権大会が2日、宮古市で開かれました。およそ1000人の児童と保護者が集まり「前回し二重跳び」や「親子跳び」など4種目の競技が行われました。このうち「3分間長縄跳び」の部では、千徳小学校の2年生チームがミスなく跳びきって優勝しました。体いっぱい喜びを表す子どもたちに大きな拍手が送られました。(2/4 ニュースエコー)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122